

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第16回 研究発表会

日時：2024年11月16日(土) 14:00開演(13:30開場)

会場：東京藝術大学音楽学部 5-109 大講義室

対象：①対面

②オンライン(アーカイブ)…会員限定

Web配信期間 2024年12月23日(月) 20:00～2025年1月20日(月) 10:00



千葉 大雅 CHIBA Taiga

放送作家、気象予報士を経て、東京藝術大学楽理科を早期卒業(大学初)。同大学演奏芸術センター教育研究助手として、書籍『つながれ! ベートーヴェン』(東京藝術大学出版会)の制作に携わる。これまで、小学生から社会人までを対象に、ピアノ、指揮、音楽学を中心とした総合的な音楽教育に取り組んできた。現在は経営コンサルタントとして大手企業に勤務。サウンドコーディング技術認定ランクA。映像音響処理技術者。

◆アマチュアオーケストラ奏者に対するソルフェージュ教育の潜在需要

本発表では、論じられることの少ないアマチュア奏者を対象としたソルフェージュ教育の可能性とその普及策を探る。まず、ソルフェージュ教育の一般的な効果について、発表者の理解を紹介する。その上で、今回新たに実施したアマチュアオーケストラ奏者を対象としたアンケート調査とヒアリング調査の結果に基づいて、音楽活動の実態、音楽的関心、課題意識、ソルフェージュに対する認識等を明らかにし、ソルフェージュ教育への潜在的な需要の可視化を試みる。最後に、自身の経験を踏まえつつ、ソルフェージュの普及に向けて音楽教育界が抱える課題とその解決策を提言する。



永田 由布子 NAGATA Yuko

桐朋女子高等学校音楽科、同大学演奏学科を経て、東京藝術大学大学院音楽文化学修士課程修了。パリ音楽院、エコール・ノルマル音楽院に留学後、東京藝術大学大学院音楽文化学(ソルフェージュ)博士課程単位取得退学。これまでにピアノを田上泰子、故坂井由紀子、江澤聖子、東誠三、故フランス・クリダ、ソルフェージュを林達也、ローラン・テシュネ、照屋正樹の各氏に師事。元桐朋学園大学附属子どものための音楽教室非常勤講師。

◆ルイビル大学における音楽理論教育の実態調査と日本との比較

本研究は、ルイビル大学における音楽理論教育の実態を調査し、日本の教育との比較を通じて新たな教育方法を模索することを目的とする。ルイビル大学ではデジタルツールを活用することで、集団授業でありながら個別指導の要素を取り入れている。またアウトプットの機会が豊富で、作曲プロジェクトでは、指定された条件に基づいて作曲し、小論文を併せて提出する他、作曲した作品の試演会を通して、学習の定着および表現力の向上が図られている。本研究は、実践的な教育方法を紹介することで、日本の教育の改善に向けた示唆を提供し、その有効性を示すものである。

入場料：無料

(会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします)
一般 1,000 円、学生 500 円、賛助会委員(個人) 500 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail: ni.sol.ken@gmail.com

http://www.ni-sol-ken.com/index.html

会員ログイン用QRコード



オンライン視聴は以下の会員ログインのURL
もしくは左のQRコードからお入りください。

http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php

Homepage



Facebook

